



地域の皆さんに私たちの活動状況をお知らせするため

活動報告会 を開催しました

2月22日に「諏訪区地域協議会活動報告会」を開催し、今期協議会委員の4年間の活動について地域の皆様に報告しました。

今号の「たより」では、活動報告会の様子と、報告内容の一部を紹介します。

報告内容

- 1 委員構成
- 2 活動概要
- 3 活動内容
 - (1) 諮問・答申
 - (2) 地域活動支援事業の審査
 - (3) 地域活性化の方向性
 - (4) 自主的審議
 - (5) 地域協議会アンケートの実施



地域協議会の詳しい活動状況は市ホームページをご覧ください。



この二次元コードをスマホで読み込むと「地域協議会の活動状況（諏訪区）」をご覧ください。

1 委員構成

○人数、男女比

	男性	女性	計
人数	9名	3名	12名
割合	75.0%	25.0%	—
28区平均	82.2%	17.8%	—

○平均年齢

52.1歳（28区平均63.5歳）

28区の地域協議会の中で平均年齢が一番若いんだよ！



※委員就任時（令和2年4月）現在

2 活動概要

活動事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
協議会開催回数	8回	8回	9回	9回	34回
地域との意見交換会	1回	—	1回	1回	3回
地域協議会だよりの発行	2回	5回	3回	5回	15回

3 活動内容

(1) 諮問・答申

「諮問・答申」は、市長が政策判断の参考とするため、区内の公共施設の新設・廃止などの案件について、住民生活に及ぼす影響の観点から地域協議会に意見を聞く制度です。

諏訪区では、4年間で2件の諮問があり、協議の結果、2件とも諏訪区の住民生活に影響はないと判断し「支障なし」と答申しました。

年度	諮問事項
令和4年度	新市建設計画の変更について
令和5年度	諏訪小学校の廃止について



(2) 地域活動支援事業の審査

「地域活動支援事業」は、地域の課題解決や活力向上に向けた活動に対して、必要な経費を補助する制度です（※令和4年度で制度終了）。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
提案件数	9件	7件	5件
採択件数	9件	7件	5件
区配分額	4,800千円	4,800千円	4,700千円
採択額	3,698千円	4,141千円	3,944千円

<3年間合計>

採択件数 **21件**

採択額 **11,783千円**

諏訪区では毎年7件程の提案が寄せられました。審査の過程で、地域協議会委員が地域の団体の皆さんと直接顔を合せ、活動について知ることができたほか、税金の使い道を決めることの難しさ、大切さを学ぶことができました。

令和5年度からは新たに「地域独自の予算」の制度がスタートしました。
詳しくは中部まちづくりセンターにお問い合わせください。



(3) 地域活性化の方向性

「地域活性化の方向性」は、議論を進めるうえでの委員間の認識の共有等を目的に全区の地域協議会が作成しているものです。

諏訪区では、地域協議会で6つの柱を整理し、地域の皆さんからご協力いただいた「地域協議会アンケート」の結果を反映させ、「活性化の方向性」を次のとおりまとめました。

**「二貫寺の森」や、田園地帯ならではの景観と風土に根ざした、
人々が住みたい・住み続けたいと思える美しい「諏訪の里」を育てていきます**

※詳しくは、「諏訪区地域協議会だより」No.50、No.51をご覧ください

(4) 自主的審議

審議テーマ：「**二貫寺の森の活用について**」

「自主的審議」は、区それぞれの地域課題などについてテーマを設定し、協議します。諏訪区では、多くの自然が残る二貫寺の森は地域の貴重な財産でありながら、森全体を見れば、草木が繁茂し十分な維持管理が行われておらず、広く市民に認知されていません。

二貫寺の森が「市民の森」として一層利用され、地域の活力向上のための施設となることを目指し、二貫寺の森の活用方策について検討することとしました。



審議経過

活用方法… イベント開催・環境整美・施設整備・
「森でできること」を確認、協議

二貫寺の森は本来平地では見られない山地性の植物が生育するなど、貴重な森であり、市の「自然環境保全地域」に指定されているため「できること・できないこと」について、市の担当課に確認しながら話し合いを進めました。



森の「**目指す姿**」と取組
案の作成、課題抽出

〔**目指す姿**〕

- ・二貫寺の森が、いろいろな人に認知されている状態
- ・二貫寺の森に、地域外の人も含めたくさんの方が訪れる状態
- ・二貫寺の森で、いつでも人が（遊んで）いる状態

現地見学
活動団体等との意見交換会

市へ意見書提出・回答

「地域協議会アンケート」の実施

① 園路に碎石を敷き均すことで森を散策できる状態に維持すること等を提案→園路のぬかるみは砂利敷の対応がなされました。

② 森の存在を多くの人から認知してもらうため、入口の看板等について整備することを提案→看板の塗り替えや支障木の伐採等の対応があったほか、小学校で園内の案内看板や顔出し看板を作成し、地域協議会委員も協力しました。



活動団体等との意見交換会

まとめ

「**利便性の向上**」に関わる
人材（キーパーソン）につ
いて検討（次ページ参照）

活動報告会

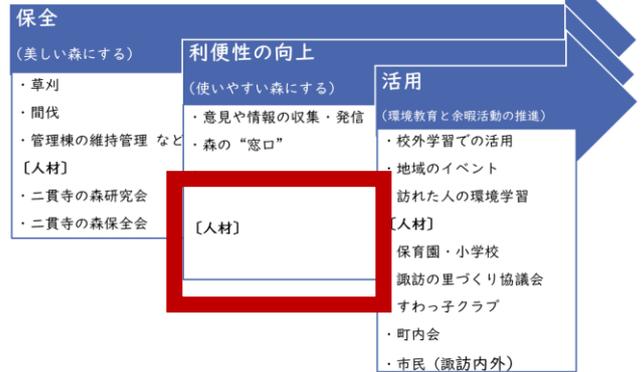
意見交換では、「森を大切にしたい、森から学びたい、活用したい」という気持ちは皆の共通認識であることを確認できました。また、「地域活性化の方向性」や「目指す姿」を地域で共有することとしました。

「利便性の向上」に関わる人材（キーパーソン） = 「森の窓口」の誕生

これまで、様々な活用方法などを協議してきましたが、そのためには、森の「利便性の向上」を図る必要があります。

そして、森に関わる人たちの取組と人材を整理すると、「『利便性の向上』を図るための『人材（キーパーソン）』が居ないのではないか」との結論に至りました。

そこで、活動報告会では、地域の皆様にこの「人材（キーパーソン）」の役を担っていただけの方がいないか伺いました。最終的に、地域協議会の腹案で、現在も地域活動の中心を担っている公民館主事であり、地域協議会委員でもある西嶋様から、この役を担っていただけてはどうかと提案し、承認いただきました。



— 「人材（キーパーソン）」の具体的な役割 —

「キーパーソン」は活動の情報を発信する、地域の意見を森の所有者である市へ伝える等、地域の中心となって「窓口」を担う人です。

諏訪区では、小学校等が森で活動する際、大人も積極的に参加し、多くの方からの協力を得られるので、新たな団体を設立するより、まずは、キーパーソンが活動するフィールド・機能を確立できれば、それぞれが行っている活動を、もっと森の活性化に結び付けることができるのではないのでしょうか。

「森の窓口」
西嶋明子さん

諏訪地区公民館公民館主事
現地域協議会委員



公民館で
お待ちしております

この度「二貫寺の森の窓口」になりました
西嶋明子です。

最初は手探りですが、諏訪地区に定着した「窓口」になれるよう、現地域協議会委員の皆さんを始め、地域の皆さんと一緒に活動していきますので、ご協力よろしくお願いします。



現地域協議会委員の任期は4月28日までです。

協議会の活動にご協力いただいた諏訪区の皆様に御礼申し上げます。引き続き次期委員の活動にも変わらずご協力いただければ幸いです。（事務局）



お問い合わせ先

(地域協議会事務局) 上越市総合政策部地域政策課 中部まちづくりセンター

上越市木田1-1-3 (上越市役所第一庁舎3階)

電話：526-1690/FAX：526-8363/E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp